

**大山きれいに  
さわやかな汗**  
米子松蔭高と東RC  
米子松蔭高校(米子市二本木)のインターアクトクラブと米子東ロータリークラブは20日、秋の大山一斉清掃に共同で参加した。

同校から生徒、教員合わせて11人、ロータリークラブから会員18人が参加。米子市淀江町本宮の大山観光道路沿いで、ごみ拾いとセイタカアワダチソウの駆除に励んだ。顧問の高嶋博子教諭は「生徒の目がだんだん外に向くようになってきた。他地域との交流や国際交流にも取り組み、さらに視野を広げたい」と話した。

同校のインターアクトクラブは、奉仕活動を通じて「他者を助け、他者を尊重する心」を養うことなどを目指している。奉仕と国際理解を目的とした「インターアクト」を支援する米子東ロータリークラブの木美俊彦会長は「米子市では唯一米子松蔭高がインターアクトのクラブ活動を行っている。今後も力強く支援していく」と述べた。



セイタカアワダチソウの駆除に  
取り組む生徒たち